岩手県感染症週報

令和 8 年第 42 週（10 月 12 日～10 月 18 日）　岩手県感染症情報センター

第 42 週

1 類感染症

・　患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

・　結核の報告が 2 例ありました。

3 類感染症

・　患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

・　患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・　患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

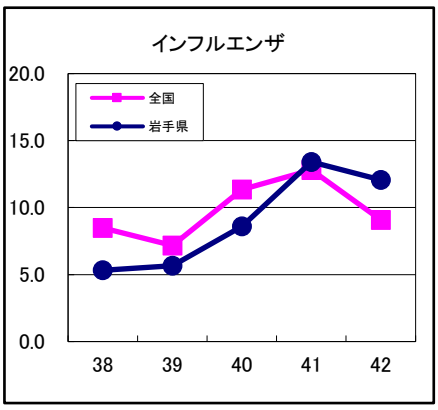
・　インフルエンザの定点当たり患者数は 12.07 人となり、注意報レベル（10.0 人）を超えています。環境保健研究センターの検査では、インフルエンザ A（H1N1）pdm2009 ウイルスが検出されています。学校等休業措置は 15 件ありました。医療機関に問い合わせのうえ、早めの予防接種を検討してください。手洗い、手指消毒、咳エチケット等基本的な感染予防対策も重要です。症状がある場合は、感染を広げないようマスクを着用のうえ受診をしてください。

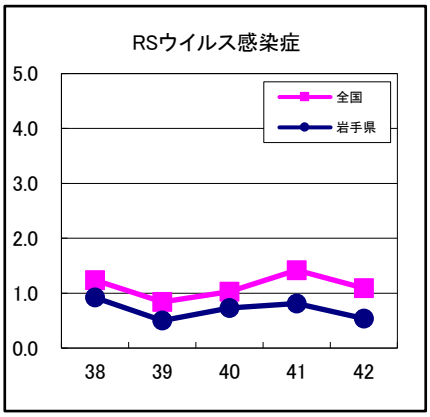
・　感染性胃腸炎の定点当たり患者数は 2.77 人となりました。胃腸炎ウイルスは消毒用アルコールが効きにくいため、石けんと流水による手洗いが重要です。調理や食事の前、トイレの後は手洗いをしましょう。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用し、塩素系消毒剤で処理してください。換気も忘れずに。

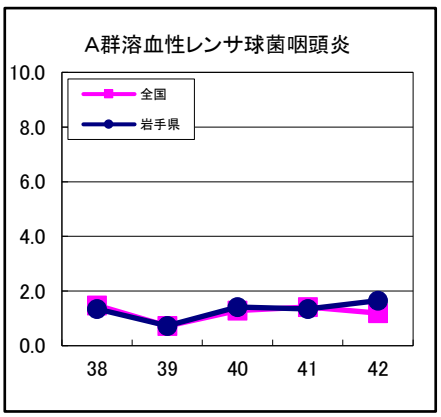
・　溶連菌咽頭炎の定点当たり患者数は 1.65 人となりました。本症は発熱や全体倦怠感、咽頭痛等を主症状とする細菌感染症です。予防には手洗いの励行、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

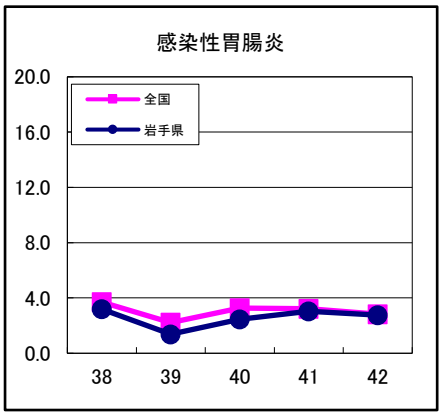
・　新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者数は 0.71 人となりました。引き続き、手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な予防対策をしてください。

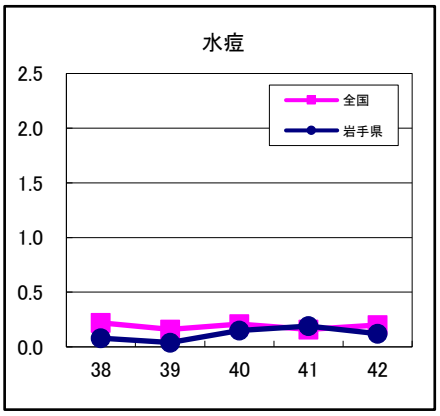
注目の疾患（定点当たり患者数の過去5週の動き）

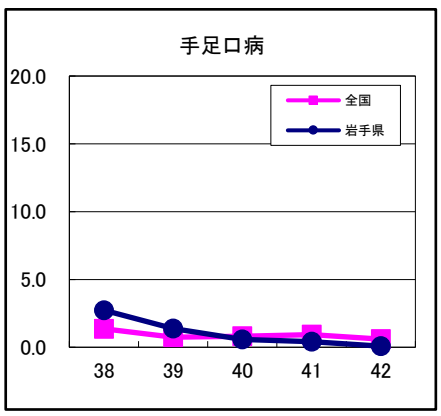


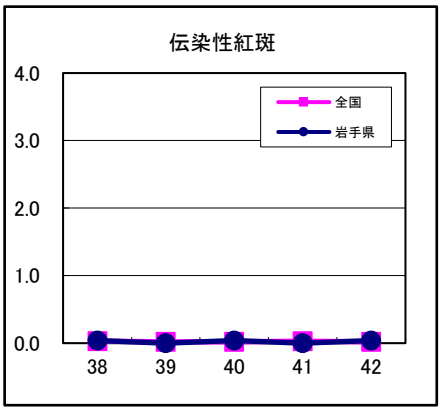


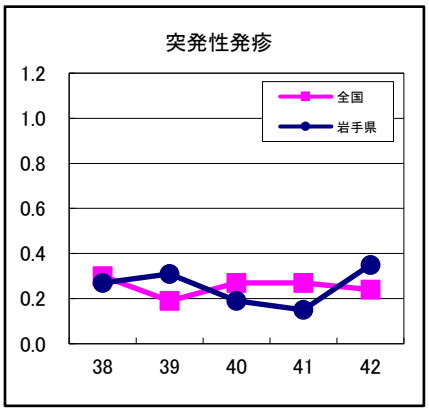


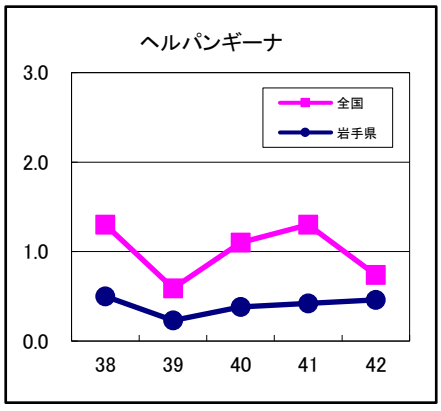


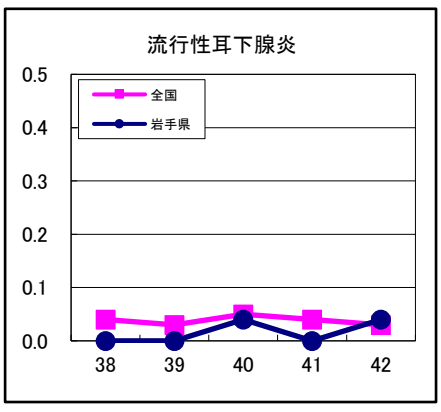


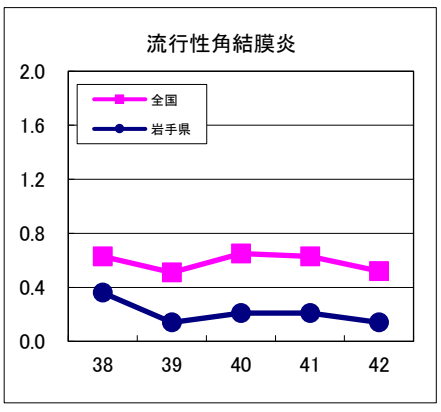


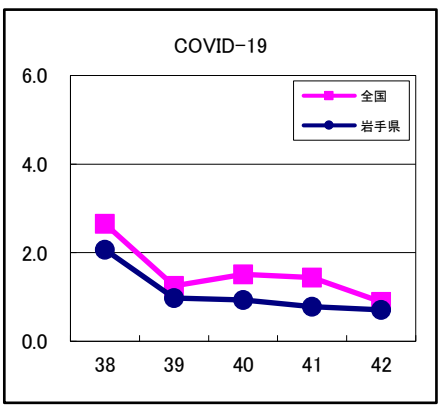












定点把握対象疾患（過去5週の動き）

【流行傾向の見方】
無印　：ほとんど患者が発生していません
☆　　：患者が発生しています
☆☆　：警報値を超えた地区が１～２地区あります
☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

（定点当たり患者数）

疾病名	地域	週 38	39	40	41	42	流行傾向	
インフルエンザ	岩手県	5.32	5.66	8.59	13.41	12.07	↘	☆
	全国	8.48	7.17	11.35	12.81	9.08		
RSウイルス感染症	岩手県	0.92	0.50	0.73	0.81	0.54	↘	☆
	全国	1.24	0.84	1.03	1.42	1.09		
咽頭結膜熱	岩手県	0.23	0.00	0.15	0.12	0.04	↘	
	全国	0.25	0.15	0.22	0.18	0.18		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.35	0.73	1.42	1.35	1.65	↗	☆
	全国	1.48	0.72	1.29	1.42	1.19		
感染性胃腸炎	岩手県	3.19	1.38	2.46	3.04	2.77	↘	☆
	全国	3.70	2.22	3.28	3.22	2.82		
水痘	岩手県	0.08	0.04	0.15	0.19	0.12	↘	☆
	全国	0.22	0.16	0.21	0.16	0.20		
手足口病	岩手県	2.73	1.38	0.58	0.42	0.08	↘	
	全国	1.36	0.75	0.81	0.92	0.60		
伝染性紅斑	岩手県	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	↗	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02		
突発性発疹	岩手県	0.27	0.31	0.19	0.15	0.35	↗	☆
	全国	0.30	0.19	0.27	0.27	0.24		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.50	0.23	0.38	0.42	0.46	↗	☆
	全国	1.30	0.59	1.10	1.30	0.74		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.00	0.00	0.04	0.00	0.04	↗	
	全国	0.04	0.03	0.05	0.04	0.03		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00		
流行性角結膜炎	岩手県	0.36	0.14	0.21	0.21	0.14	↘	☆
	全国	0.63	0.51	0.65	0.63	0.52		
新型コロナウイルス感染症	岩手県	2.07	0.98	0.93	0.78	0.71	↘	☆
	全国	2.65	1.25	1.51	1.44	0.89		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	↗	
	全国	0.05	0.05	0.05	0.06	0.07		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.42	0.21	0.42	0.32	0.26	↘	☆
	全国	0.55	0.52	0.64	0.66	0.61		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01		
インフルエンザ（入院患者） ※報告数であることに注意	岩手県	31	25	13	14	19		
	全国	752	859	999	1123	983		
急性呼吸器感染症（ARI）	岩手県	82.66	57.34	76.49	94.51	80.27	↘	
	全国	66.73	41.84	60.34	69.78	56.70		

※2025 年 4 月 7 日より急性呼吸器感染症（ARI）が定点把握対象疾患となりました。

※2023 年第 19 週より新型コロナウイルス感染症が定点把握対象疾患となりました。

※2018 年 1 月 1 日より百日咳が 5 類感染症（定点把握対象疾患）から 5 類感染症（全数把握対象疾患）へ変更されました。

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	（週）	岩手県					全国	
		38	39	40	41	42	累計	42	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核（ ）内は潜在性結核感染症患者再掲	4 (1)	3 (0)	3 (2)	1 (1)	2 (0)	77	202	12100
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群（ＭＥＲＳ）	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１）	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（Ｈ７Ｎ９）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	1	2	59
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	0	2	0	41	75	3616
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	32
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	16
四類感染症	Ｅ型肝炎	0	0	0	0	0	2	11	515
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ａ型肝炎	0	0	0	0	0	1	8	341
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	19
	エムポックス	0	0	0	0	0	0	3	149
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ｑ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	6
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群（ＳＦＴＳ）	0	0	0	0	0	0	4	159
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	つつが虫病	0	0	1	0	0	3	1	67
	デング熱	0	0	0	0	0	0	4	127
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１、Ｈ７Ｎ９を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	34	534
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	6
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ｂウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	40
	野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	4
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	0	0	0	1	0	18	75	2255
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	3	28
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	（週）	岩手県					全国	
		38	39	40	41	42	累計	42	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	7	405
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	6	6	171
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	0	0	0	0	2	18	802
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	2	25
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	14	444
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	4	2	139
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	6	18	1021
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	3	8	752
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	42
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	449
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	47
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	1	0	13	28	2099
	水痘（入院例）	1	0	0	0	0	12	7	679
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	多剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	201
	梅毒	1	0	0	1	0	23	146	9178
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	1	2	137
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	94
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	61
	百日咳	0	0	1	0	0	24	47	4765
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	4
	麻しん	0	0	0	0	0	4	0	577
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	10

※2026年4月6日より、多剤耐性緑膿菌感染症が5類感染症（全数把握対象疾患）となりました。

今注目の感染症　急性呼吸器感染症（ARI）

急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。これにより、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのような流行しやすい急性呼吸器感染症の流行の動向を把握することができ、また、仮に未知の呼吸器感染症が発生し始めた場合に迅速に探知することが可能となります。

急性呼吸器感染症に対する予防方法として、基本的な感染症対策である換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケットなどの実施が有効です。

なお、県内の急性呼吸器感染症の発生状況（速報）については、岩手県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

【参考】急性呼吸器感染症(ARI)　（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやサポウイルスなどのウイルスが大部分を占めています。感染性胃腸炎の原因ウイルスは、手指や食品などを介して経口感染し、嘔吐、下痢、腹痛などを引き起こします。健康な人は軽症で回復しますが、子どもや高齢者は重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡したりすることがあります。

全国の感染性胃腸炎の報告数は、例年 11 月から増加し 12 月と 1 月から 2 月頃にピークを迎えます（図 1）。

一方、県内の感染性胃腸炎の報告数は、2024 年では全国と同様の流行形態をとっており、第 5 週にピークを迎えました（図 1 及び 2）。2025 年は第 11 週にピーク（13.26 人）となりました。今週の県内各保健所管内の定点当たり患者数は図 3 のとおりです。

2026 年 4 月 1 日から第 42 週までの県内の集団発生事例は 19 件あり、ノロウイルスが 14 件、ロタウイルスが 1 件、その他のウイルスによるものが 4 件でした。

感染性胃腸炎の主な原因となるウイルスは感染力が非常に強く、少量のウイルスでも感染する特徴があります。学校や教育保育施設、老人福祉施設などの集団生活を営む施設では、感染予防対策の再確認が勧められます。

ウイルス性胃腸炎の予防方法は以下のとおりです。

(1) トイレの後、調理前、食事前には石けんと流水で十分な手洗いを行う。
(2) 調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒以上で十分加熱する。
(3) 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクや使い捨て手袋を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した器具を塩素系消毒剤で消毒する。
(4) 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに受診する。

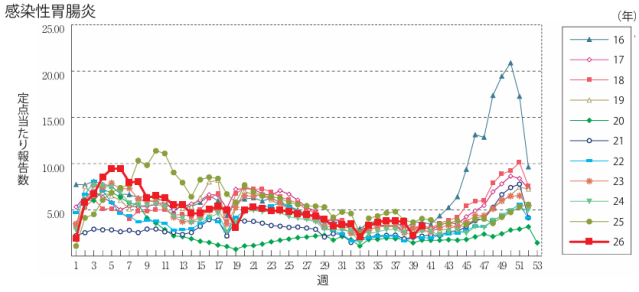


図 1 全国の感染性胃腸炎の発生状況（2016 年～2026 年第 40 週）

（国立健康危機管理研究機構 HP より）

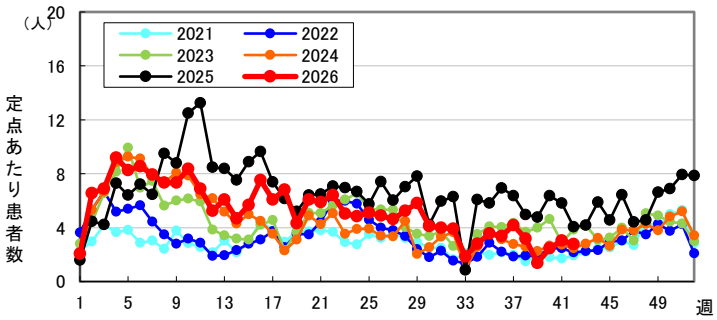


図 2 岩手県の感染性胃腸炎の発生状況

（2021 年～2026 年第 42 週）

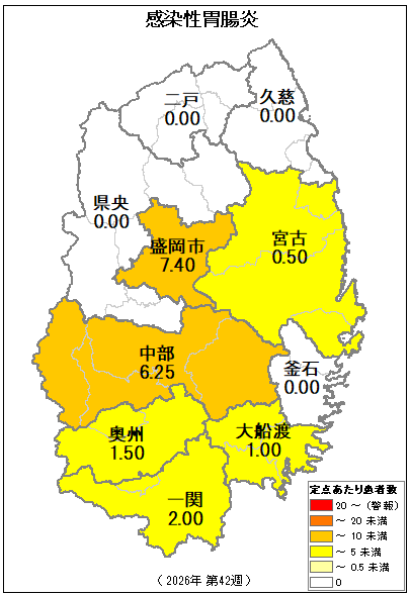


図 3 第 42 週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29 年 1 月 1 日時点国土数値情報　（行政区域データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図　（地図情報）を使用した。（承認番号 平 29 情使、第 675 号）

【参考】感染性胃腸炎（国立健康危機管理研究機構）　https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/intestinal/010/intestinal-intro.html

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする急性の呼吸器感染症で、毎年のように世界で流行がみられます。潜伏期間は１日～3 日程で、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状が突然現れ、鼻水や咳などの呼吸器症状が続きます。インフルエンザウイルスにはＡ型、Ｂ型、Ｃ型の３型がありますが、流行するのはＡ型とＢ型です。

全国のインフルエンザの発生状況は図１のとおりです。例年 11 月下旬から 12 月上旬頃に増加し始め、翌年の１月から２月頃にピークとなり減少しますが、2026 年は８月（第 34 週）に流行入りが発表されました。

岩手県では、例年 11 月下旬から 12 月頃に流行入りし、１月から３月頃に患者数が増加します。2025/2026 シーズンは第 41 週に流行入りし、第 44 週には注意報が、第 45 週には警報が発令されました。また、2026 年第 35 週には過去 10 年間で最も早い流行入りが発表され、第 41 週には注意報が発令されました（図 2)。今週の県内各保健所管内の定点当たり患者数は図３のとおりです。

主な感染経路は、咳やくしゃみ、会話などから発生する飛沫による感染（飛沫感染）と、飛沫の付着物に触れた手指などを介した接触感染です。予防には、マスクの着用などの咳エチケットによる飛沫感染対策と、手洗いによる接触感染対策が挙げられ、この他にワクチン接種が効果的です。ワクチン接種は、例年 10 月頃から始まるのが一般的です。ワクチンによる予防効果が現れるまでに２週間程度かかるため、医療機関での接種が可能となった場合は早めの接種が勧められます。接種を希望する人は、事前に医療機関にお問い合わせください。

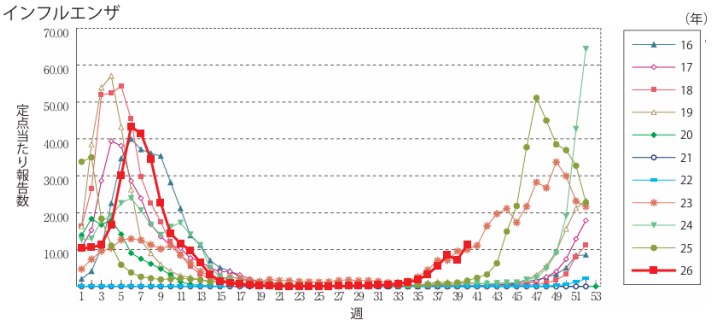


図１ 全国のインフルエンザの発生状況（2016 年～2026 年第 40 週）

（国立健康危機管理研究機構 HP より）

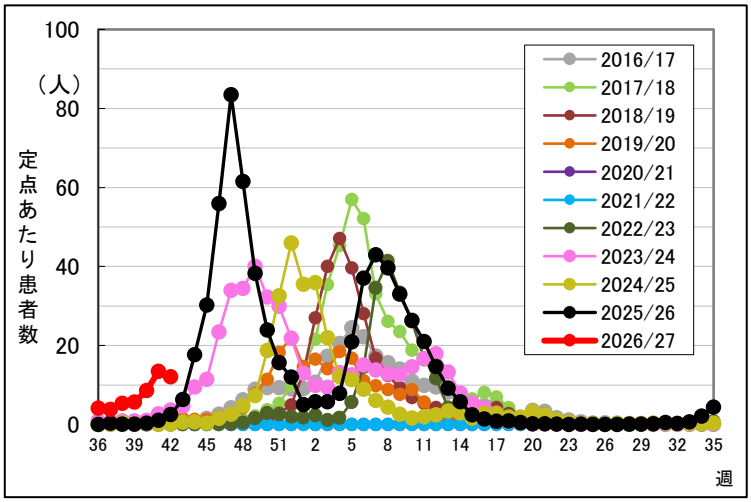


図２ 岩手県のインフルエンザの発生状況

（2016/17 年～2026/27 年第 42 週）

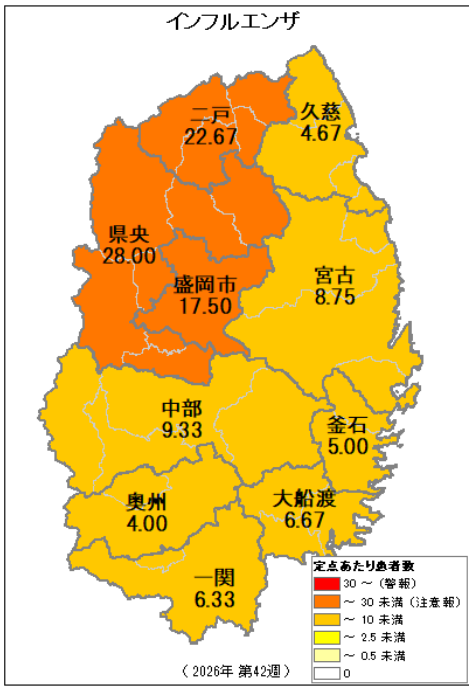


図３ 第 42 週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29 年１月１日時点国土数値情報　（行政区域データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図　（地図情報）を使用した。（承認番号 平 29 情使、第 675 号）

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID－19）は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。 2023 年第 19 週（5 月 8 日～14 日）から全数把握対象疾患ではなく、五類感染症の定点把握対象疾患となり、県内の発生動向は定点医療機関からの患者数の報告に基づいて公表しています。

2023 年第 19 週以降の国内と県内の定点当たり患者数は図 1 のとおり、2025 年 9 月から 2026 年 8 月までに県内で検出された新型コロナウイルス変異株の解析結果は図 2 のとおり、2026 年第 42 週の県内保健所管内ごとの定点当たり患者数は図 3 のとおりです。

高齢者や基礎疾患のある方は重症化のリスクがあるので特に注意が必要です。予防には、咳エチケットや手洗い、換気等普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3 つの密」（換気の悪い密閉空間、人が多数集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）を避けるようにしましょう。

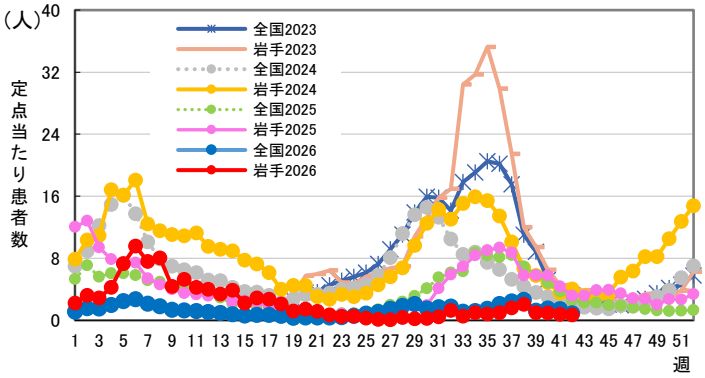


図 1　全国及び岩手県の状況（2023 年第 20 週～）

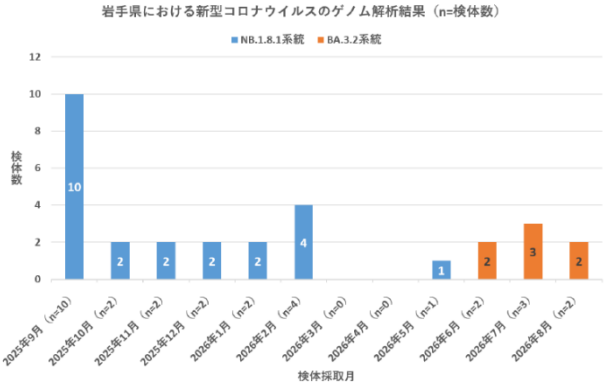


図 2　岩手県における新型コロナウイルスゲノム解析結果

（2025 年 9 月～2026 年 8 月）

【参考】

新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報（国立健康危機管理研究機構）
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/coronavirus/index.html

岩手県の新型コロナウイルス感染症関連情報
https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html

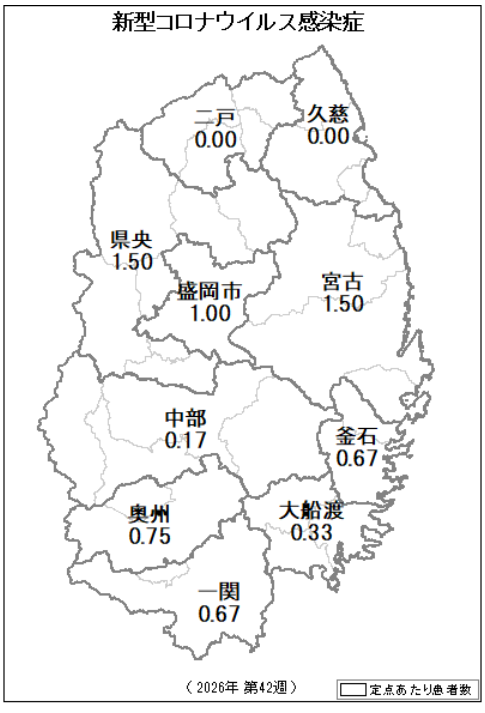


図 3　第 42 週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29 年 1 月 1 日時点国土数値情報（行政区域データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 数値地図（国土基本情報）電子国土基本図 （地図情報）を使用した。（承認番号 平 29 情使、第 675 号）

今注目の感染症

つつが虫病

つつが虫病は、*Orientia tsutsugamushi*（以下「菌」という。）によって引き起こされる感染症です。人から人へ感染することはありません。つつが虫病は、菌を保有するツツガムシ（ダニの一種）の幼虫に刺されることで感染します。

この菌を媒介する主なツツガムシは、アカツツガムシ、タテツツガムシ及びフトゲツツガムシの３種で、それぞれの一部（0.1～3%程度）が菌を保有しています。本症は、これらツツガムシの幼虫の活動時期と密接に関係しており、季節により発生に変動がみられます。全国的には、春から初夏及び秋から初冬の２つの発生ピークがみられます。東北・北陸地方では、ツツガムシの一部が融雪とともに活動を再開するため、春から初夏の患者数が秋から初冬より多い傾向があります。

岩手県では 2025 年に６名の患者が報告されています。2016 年から 2025 年までの過去 10 年間の患者数は合計 39 名で、そのうち 33 名が春～初夏（第 16 週～第 26 週頃）に診断されています。一方、秋にも患者の報告が見られるため、注意が必要です。

ツツガムシは一生の大半を土壌中で過ごし、その間は昆虫の卵などを餌として生活しています。卵から孵化した後、幼虫期にのみ哺乳動物に吸着して組織液を吸います。通常は野ネズミなどの小型哺乳類に寄生しますが、偶然ヒトに付着することもあります。この際、菌を保有したツツガムシに刺されることで感染が成立します。吸着時間は 1～2 日程度であり、ツツガムシから宿主への菌の移行にはおよそ６時間以上が必要とされています。なお、ツツガムシの幼虫の大きさは 0.2～0.3 ㎜と非常に小さく、肉眼で識別することは困難です。

潜伏期間は 5～14 日で、全身倦怠感、食欲不振とともに、頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症します。体温は段階的に上昇し、数日で 40℃程度に達することもあります。また、特徴的な刺し口（刺し口）が皮膚の柔らかい部位（腋窩、鼠径部など）にみられ、その後、数日で体幹部を中心に発疹が出現します。

テトラサイクリン系抗菌薬による治療が適切に行われると、速やかな症状の改善が認められます。しかし、治療が遅れると播種性血管内凝固症候群（DIC）などを合併し、重症化して死亡に至ることがあります。

ワクチンはなく、最も重要な予防法はツツガムシの付着を防ぐことです。山や草地、田畑に入る際は、長袖・長ズボン、帽子等を着用し、肌の露出を極力少なくしてください。また、衣服の上からダニ忌避剤（防虫剤）を使用することも有効です。休憩の際は草むらに直接座らず、できるだけ地面が露出した場所を選びましょう。帰宅後は速やかに入浴し、付着している可能性のあるツツガムシを洗い流してください。着用していた衣類も洗濯することが重要です。

【参考】

国立健康危機管理研究機構　つつが虫病

https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tsutsugamushi-disease/index.html

厚生労働省　つつが虫病について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173061.html



写真　ダニの刺し口

（須藤恒久著「新ツツガムシ病物語」より）

岩手県の電話等相談窓口

県民医療相談センター
受付時間：平日 9 時から 16 時
TEL：019-629-9620　FAX：019-626-0837

岩手県救急医療電話相談ダイヤル「＃7119」
受付時間：24 時間 365 日
TEL：#7119　（ダイヤルまたは IP 電話の場合は 019-656-1774）

《15 歳未満のお子さんに関するご相談》
岩手県小児救急医療電話相談「＃8000」
受付時間：24 時間　年中無休（令和８年 10 月 1 日より、受付時間が 24 時間に拡大しました。）
TEL：#8000　（ダイヤルまたは IP 電話の場合は 019-605-9000）

《岩手県の受診・相談（新型コロナウイルス感染症）ホームページ》
「かかりつけ医」がない場合、ご相談ください。
①　発熱等の症状がある場合の健康相談や受診先の相談。
②　ワクチンの効果や体への影響、接種後の副反応についての相談。
ホームページはこちら↓
https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/1052939.html

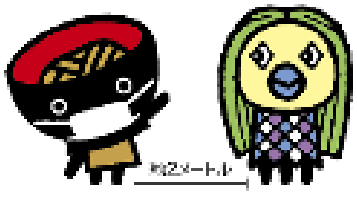
医療機関からの情報

この週には医療機関からの情報はありません。

Q&A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 1-11-16
TEL:019-656-5669（直通）　FAX:019-656-5667



集団感染情報

○新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生について
　岩手県　0 件　　盛岡市　0 件

○感染性胃腸炎の集団発生について
　今週の集団発生事例はありません。

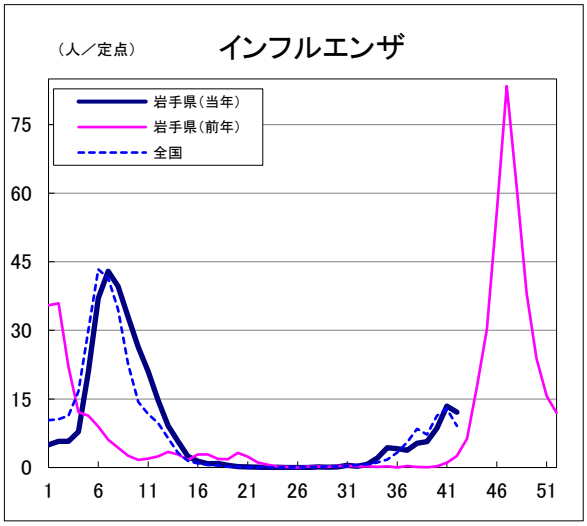
○インフルエンザによる学校等休業措置について（第 42 週公表分）
　岩手県　10 件　　盛岡市　5 件

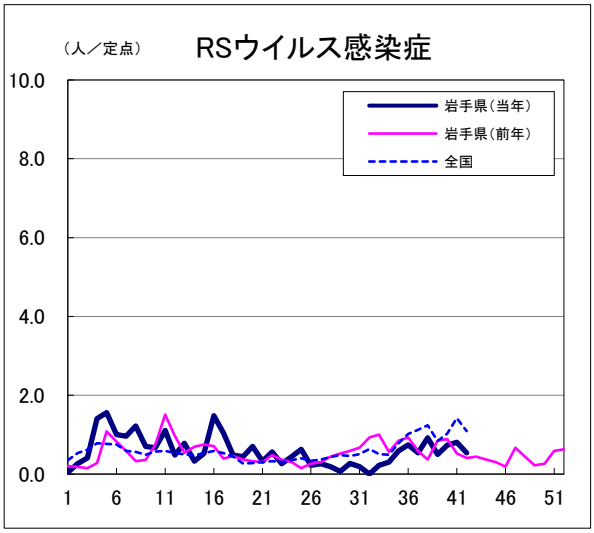
集団感染情報に関するお問合せ先
岩手県保健福祉部医療政策室
TEL　019-629-5417

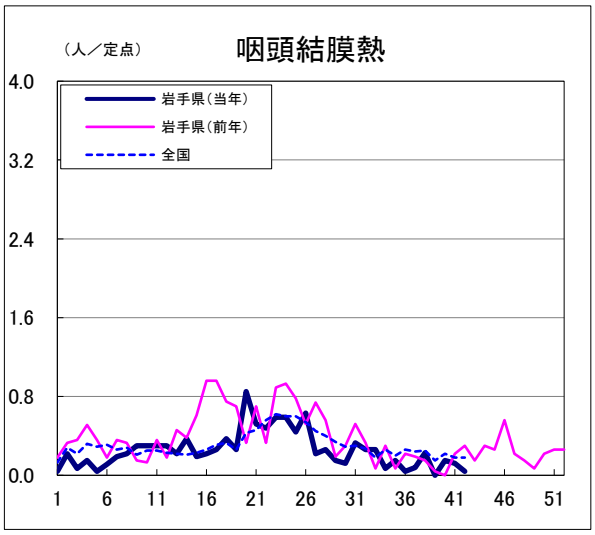
病原体検出情報

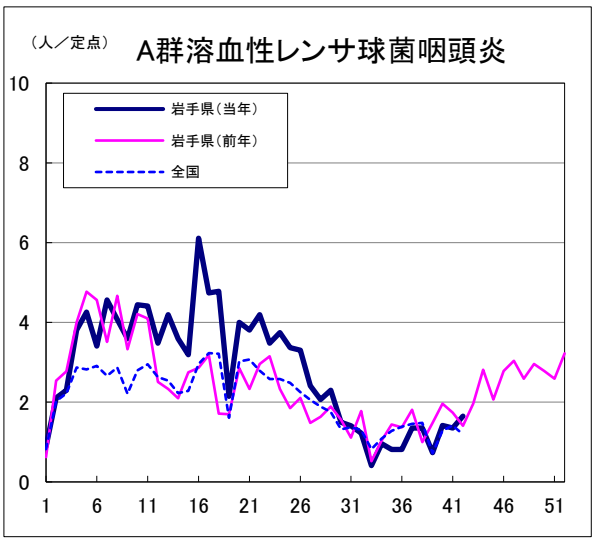
今週の病原体検出情報はありません。

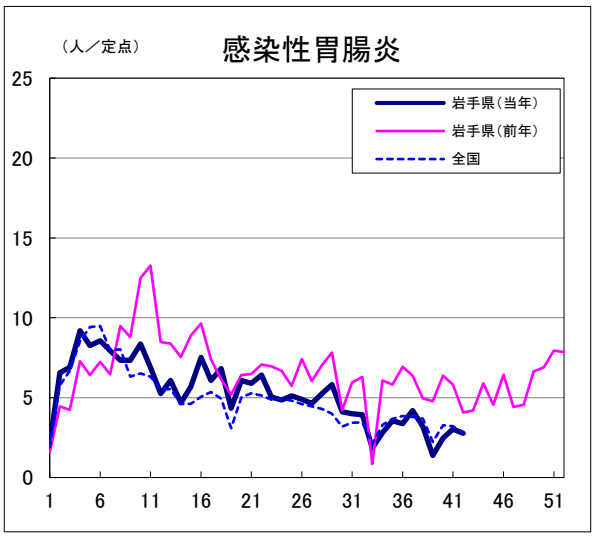
疾病別グラフ　（定点当たり患者数の推移）

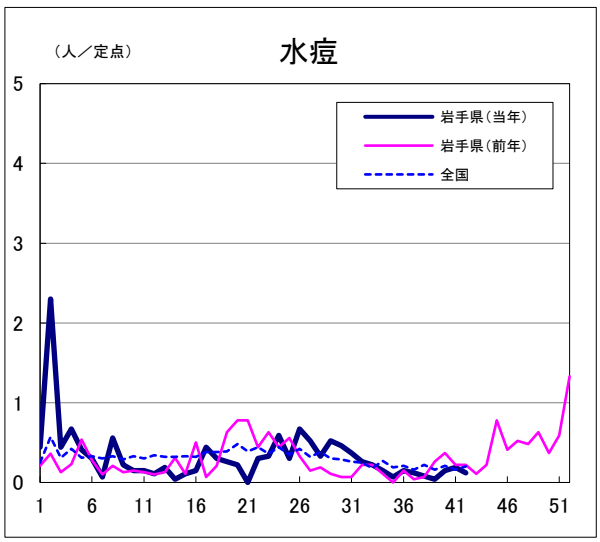


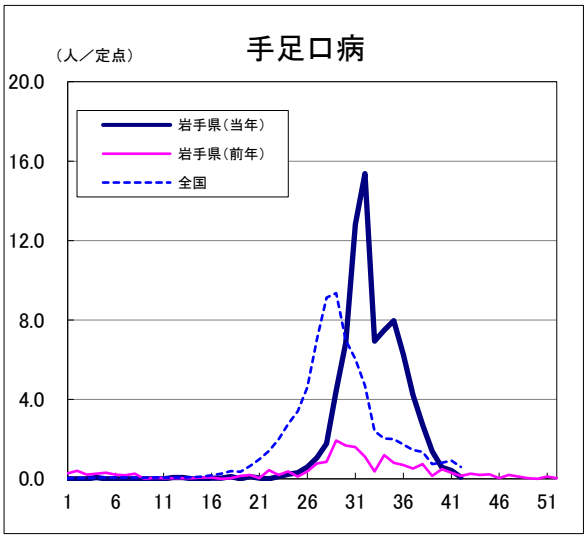


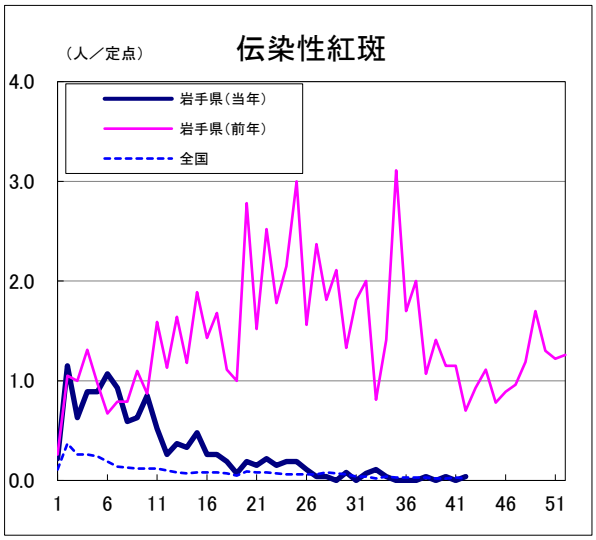


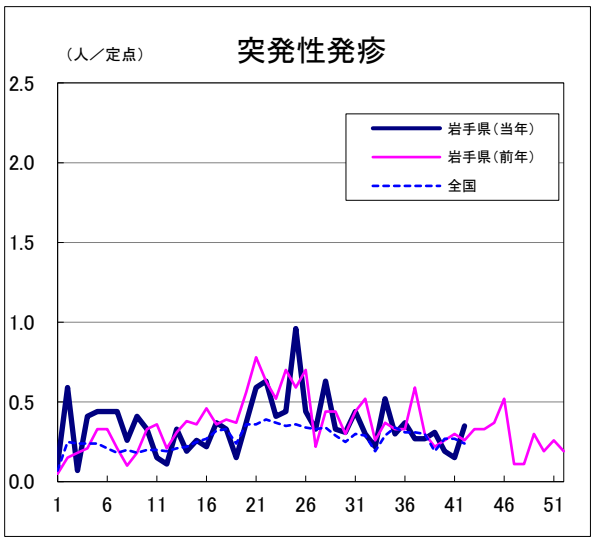


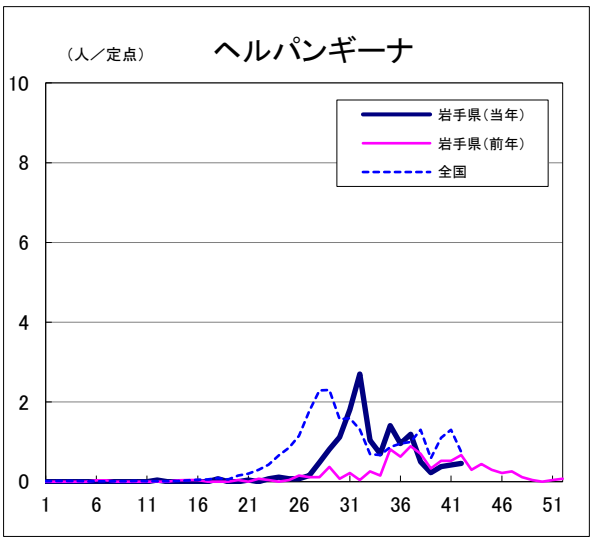


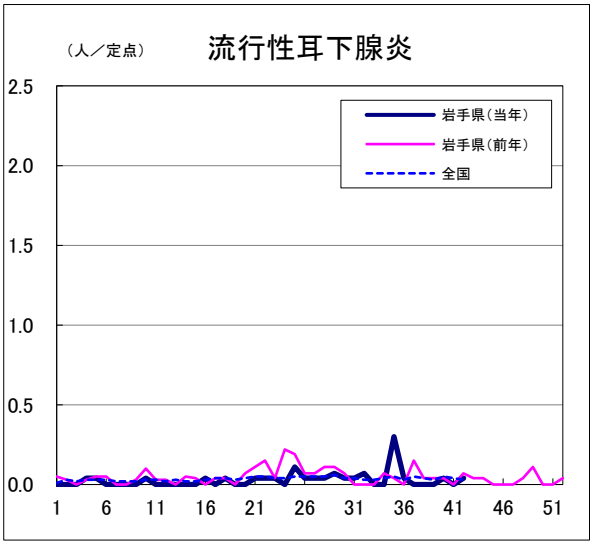


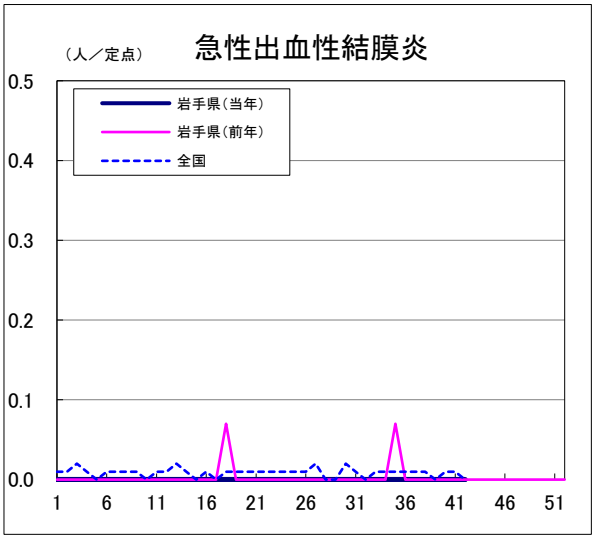

手足口病
（人／定点）
20.0
16.0
12.0
8.0
4.0
0.0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

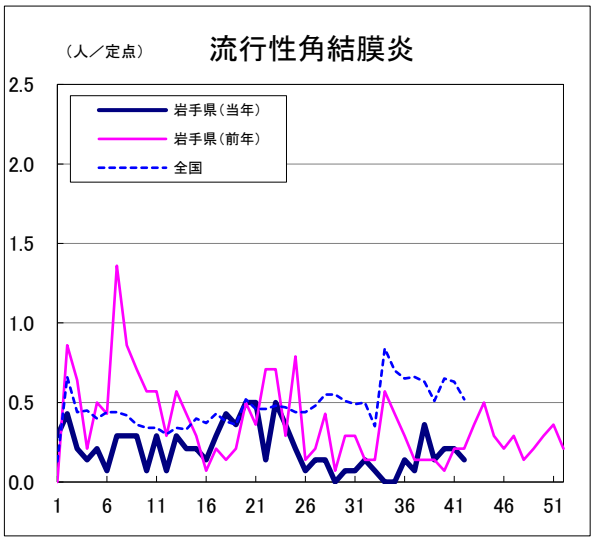

伝染性紅斑
（人／定点）
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

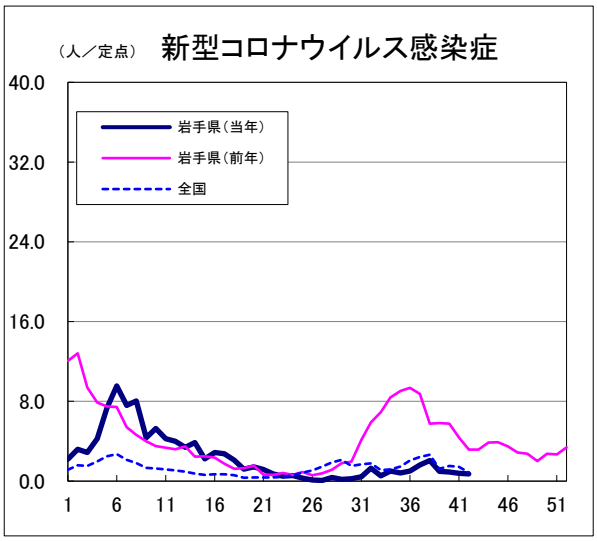

突発性発疹
（人／定点）
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

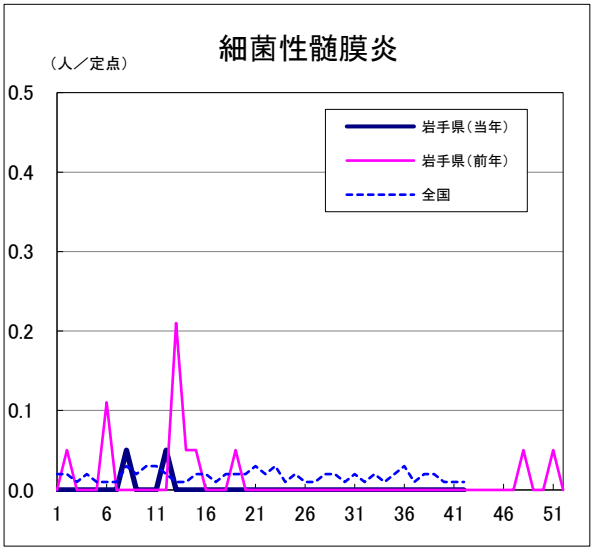

ヘルパンギーナ
（人／定点）
10
8
6
4
2
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

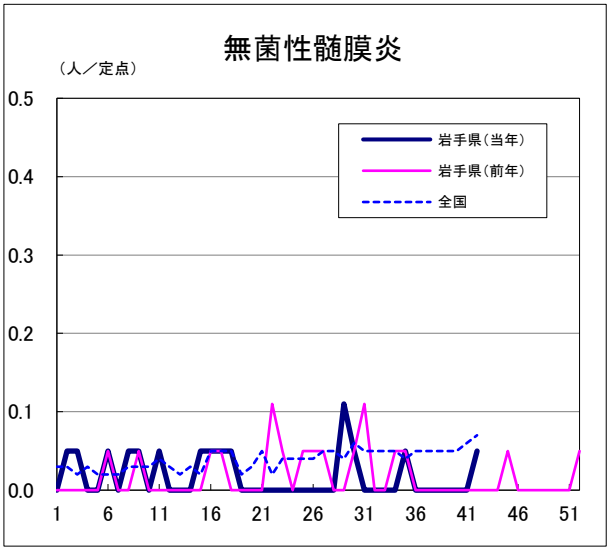

流行性耳下腺炎
（人／定点）
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

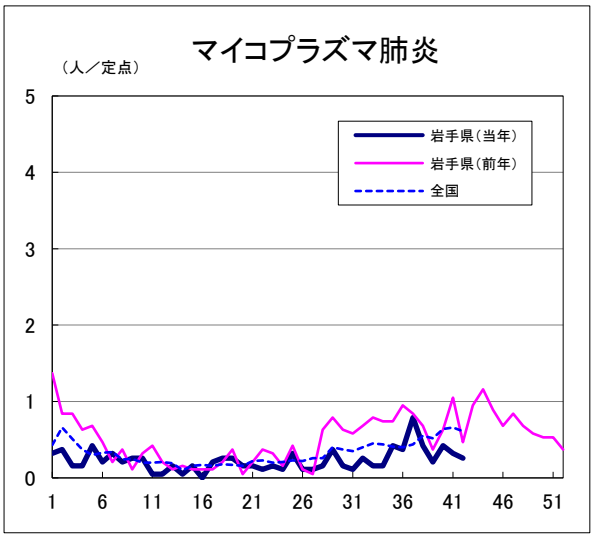

急性出血性結膜炎
（人／定点）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

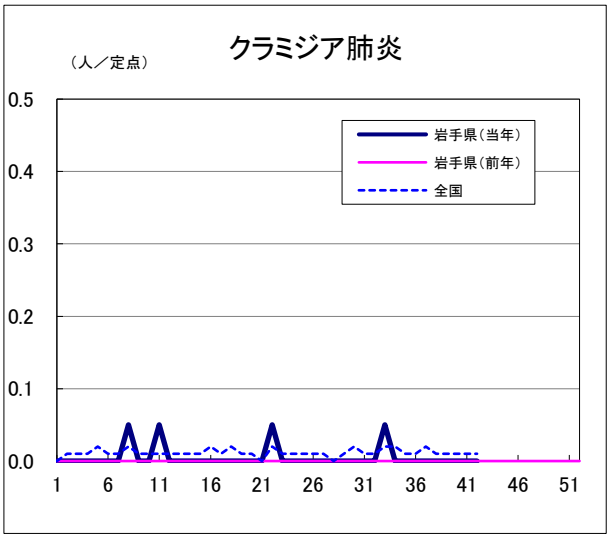

流行性角結膜炎
（人／定点）
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


新型コロナウイルス感染症
（人／定点）
40.0
32.0
24.0
16.0
8.0
0.0
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


細菌性髄膜炎
（人／定点）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


無菌性髄膜炎
（人／定点）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


マイコプラズマ肺炎
（人／定点）
5
4
3
2
1
0
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


クラミジア肺炎
（人／定点）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51

定点医療機関の数

定点種別 / 地区	ARI定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	41	26	14	19
盛岡市	8	5	3	4
県央	4	3	2	1
中部	6	4	2	4
奥州	4	2	1	2
一関	3	2	1	2
大船渡	3	2	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	4	2	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする　無料です!!

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下の URL からお願いします。

https://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html

岩手県感染症週報　令和８年第４２週　令和８年１０月２３日発行
監　修　：岩手県感染症発生動向調査協議会
発　行　：岩手県環境保健研究センター
　　岩手県保健福祉部医療政策室
事務局　：岩手県感染症情報センター
　　（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
　　〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 1-11-16
　　TEL:019-656-5669（直通）　FAX:019-656-5667
E-mail：CC0019@pref.iwate.jp
URL　：https://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/
　　＜岩手県感染症情報センター＞
　　https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html
　　＜岩手県保健福祉部医療政策室＞